

検討の観点別に見た特色 | 中学生の音楽

● 教育基本法との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	● 英語の学習と関連付けられるように、英語で歌う教材を取り上げている。	1年p.38/2年p.32,33/3年p.23,28,29
	● 音符や休符を使った簡単なリズムの読み書きを確実に習得できるような教材が含まれている。	1年p.16,17/2年p.12,13
	● 他者を尊重し、自然を愛する心を育てることのできる教材や、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げている。	各学年歌唱教材のページ
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	● 未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばす態度を養えるよう工夫されている。	1年p.10-13/2年p.10,11,14,15/3年p.26,27
	● 旋律の音の進行の仕方や上行下行などに着目し、旋律をつくる活動によって創造性を培えるよう配慮されている。	1年p.21-23
	● 様々な楽器などの音色を工夫しながら音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。	1年p.40,41
	● 言葉の抑揚や和音に着目して旋律をつくる活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。	2年p.36,37/3年p.30,31
	● 声やボディーパーカッションの音を使いながら、反復や変化などを用いて音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。	2年p.38,39/3年p.32,33
● 音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができる。	3年p.68,69	
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● 各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。	1年p.30-37/2年p.14-16/3年p.23
	● 創作におけるグループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材が含まれている。	1年p.40,41/2年p.38,39/3年p.32,33
	● 音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。	1年p.58,66/2年p.68,72/3年p.68,69
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる教材と学習活動が設定されている。	1年p.24-29/2年p.18-23/3年p.10-15,20-22
	● 他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材を取り上げている。	1年p.68-71/2年p.74-79/3年p.70-73
	● 松任谷由実氏のメッセージや作品に触れ、「今」という時間に気付き、個人の価値や生命の尊さを学ぶことができるよう工夫されている。続く「音楽ってなんだろう？」では、音楽は時間とともにある芸術であることを学び、前ページの学習をより深められるよう配慮されている。	2年p.2-5(p.74,75)
	● 合唱曲「春に」の歌唱や、作者である谷川俊太郎氏と木下牧子氏の対談から創作の背景に触れ、真理を求める姿勢や豊かな情操、作品を生み出す創造性に対する憧れの気持ちを養えるよう工夫されている。続く「音楽ってなんだろう？」では、音楽は人間の様々な感情を表現する芸術であることを学び、前ページの学習をより深められるよう配慮されている。	3年p.2-5(p.82-85)
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 狂言師、野村萬斎氏のインタビューを掲載し、我が国の伝統文化に親しみ、それらを尊重する態度を養えるよう工夫されている。	1年p.2,3
	● 音楽を通して多様性を学ぶとともに、他者や他国を尊重する姿勢を育むことができるよう配慮されている。	1年p.4,5/3年p.60-63
	● 我が国の民謡や伝統的な長唄、義太夫節、謡を歌唱教材として取り上げ、実感をもって我が国の伝統的な歌唱の学習を行えるよう配慮されている。	1年p.60,61/2年p.60,61,66/3年p.48,49
	● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽を明確な観点をもって学習できるよう工夫されている。	1年p.52-59/2年p.56-69/3年p.42-55
	● 他国を尊重する態度を育成するため、アジアや諸外国の様々な音楽を教材として取り上げている。	1年p.64,65/2年p.70,71/3年p.56-59
	● 我が国で長く歌い継がれている歌を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるよう工夫されている。	1年p.68-71/2年p.74-79/3年p.70-73
● 国歌「君が代」だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。	各学年p.98,99	

第2条との関連

● 学習指導要領との関連

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 1年及び2・3年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	各学年目次、p.8,9及び各学年各ページ
	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。	● 音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それを生かして表現や鑑賞の活動を進めたりできるように、教材は適切に配置され、学習のねらいは生徒に分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるよう配慮されている。 ● 生徒が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。	各学年目次、各ページ 1年p.2-5,66/2年p.2-5,72/3年p.2-5,68,69
目標	「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のキャラクターの吹き出しが適切に配置され、生徒にとって学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。	各学年各ページ
	「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 学習活動を進める上で、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容を記述する場面を設定したり、作品例やワークシートを掲載したりするなど、手順が分かりやすく、極めて適切なものとなっている。 ● 表現に対し思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。	1年p.19,22,23,30,31,36,37,39-41,47,51/2年p.16,22,23,29,33,36-38/3年p.31-33,39,53,62 各学年各ページ
	「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 1年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」(学習内容の見取り)や、1年間の学習を振り返ることができる「音楽を形づくっている要素」のページのほか、「曲のよさをプレゼンしよう」のページが設けられ、生徒が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。	1年p.8,9,67,93/2年p.8,9,73/3年p.8,9,89,96
〔共通事項〕	(共通事項)は、学習指導を進める上で適切に扱われているか。	● (共通事項)に示された音楽を形づくっている要素が、各教材の学習目標の下に示されており、適切に扱われている。 ● 学習内容をまとめた「学びの地図」には音楽を形づくっている要素が明示されており、各教材の学習目標及びそれに関わる学習の窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、(共通事項)との関連が図れるよう配慮されている。	各学年各ページ 各学年p.8,9
	指導上の配慮や工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。	● 生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。 ● 生徒が意見を交流し、学びを深めることができるようキャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家からのメッセージにより自分の考えをより広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。 ● 「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して表現や鑑賞の学習を深めることができるよう工夫されている。
言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。		● 巻頭の特集ページ、各鑑賞教材の資料や巻末の楽典事項などにより、生徒が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。	各学年p.2-5/1年p.45,46,50,52-54,63,94-97/2年p.40,42,43,47-49,54-57,62-65,67,95-97/3年p.34,35,37,40,41,43-47,51,60-63,97
生徒が実感をもって学習を進めるための体験活動や体を動かす活動は、適切に設定されているか。		● 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。 ● 音楽を形づくっている要素を文字で示すことで、言語活動の充実を図っている。	1年p.22,23,30,31,37,40,41,47,51/2年p.17,23,29,33,36-39/3年p.30-33,38,39,54,55 各学年各ページ
		● 我が国や郷土の伝統音楽を学習する際に、生徒が親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、歌ったり手や打ったりする体験活動が示されている。 ● 「指揮をしてみよう！」では鑑賞曲や歌唱曲を聴きながら指揮をしたり、指揮に合わせて手拍子を打ったり歌ったりすることにより、基礎を学びながら実感をもって豊かな音楽活動につなげることができるよう配慮されている。	1年p.55,60,61/2年p.60,61,66/3年p.48-50 1年p.42,43/2年p.50,51/3年p.66,67

資料

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
教材は系統的・発展的に組織されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容を踏まえ、各学年、全学年を通して教材が系統的・発展的に組織されている。 階名唱、合唱、創作などの系統は、小学校における学習状況や各学年の発達段階を考慮した無理のないものとなっている。 	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ 各学年歌唱、創作教材のページ
小学校における学習内容との系統性・一貫性に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る意味で、極めて適切な内容となっている。 1年に小学校の基礎的な学習内容を確認するページが用意されているだけでなく、2年でも同様に繰り返して確認できるよう工夫されている。 	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ 1年p.16,17/2年p.12,13
教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。 関連する表現教材と鑑賞教材は、効果的な学習が期待できるよう配列されている。 学習内容をまとめた「学びの地図」で1年間の学習の見通しをもつとともに、「音楽を形づくっている要素」のページにおいて各学年の重要な学習事項を生徒が自ら振り返って、確認することができる効果的な配列となっている。 	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ 1年p.18:21-23,p.39:40,41/ 2年p.58-61,64-66/ 3年p.32,33:58,p.46-49 1年p.8,9,67/ 2年p.8,9,73/ 3年p.8,9,89
基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「リズムゲーム/リズムアンサンブル/リズムチャレンジ」「My Voice!」などのページでは、基礎的な学習内容を確認できるように工夫されている。 巻末の充実した楽典事項や「音楽を形づくっている要素」のページにより、基礎的・基本的な内容の確認や反復学習ができるよう適切に配慮されている。 	1年p.14-17,20/ 2年p.12,13,17,23/3年p.19 1年p.67,94-97/2年p.73, 95-97/3年p.89,97
各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、学習内容をまとめた「学びの地図」や各教材においては題材設定のヒントとなる音楽を形づくっている要素が示されているなど細かい配慮がなされている。 	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ
教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、過不足ない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントなどが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。 ねらいに即した学習内容や関連教材が有機的に組織されており、教材の学習活動の分量を弾力的に増減できるよう配慮されている。 文章は生徒に分かりやすく丁寧かつ簡潔で文章量も適切なものとなっている。 	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ
教材の選択及び扱いは、学習指導を進める上で適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 明確な学習の観点のもと幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。 生徒の心情に即した教材が用意されており、興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。 共通教材は「心の歌」と題して明確に示されている。 	各学年各ページ 各学年各ページ 1年p.24-29/2年p.18-25/ 3年p.10-18,20-22
教材や学習活動の程度は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱教材においては、歌詞あるいは楽曲の内容が生徒の心情的な発達段階に沿ったものであり、かつ合唱の編成や各パートの音域についても学年に応じて極めて適切に考慮されている。特に1年では変声期の声域に対応できるよう作・編曲していたり、コラムを設けたりしており、学習を進める上で極めて適切である。 鑑賞教材の取り上げ方は学年の実態に合わせて適切に配慮されている。 創作の学習では、小学校の学習を継続、反復、発展させながら、生徒の発達段階に沿って系統的に内容が構成されている。 	各学年歌唱教材のページ 1年p.10-13,18-20,30-38 各学年鑑賞教材のページ 1年p.21-23,40,41/ 2年p.36-39/3年p.30-33
「創作」に関わる学習活動が適切に取り扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、「My Melody」「Let's Create!」では学習指導要領に示されたイ(ア)及びイ(イ)いずれの事項からも、無理なく取り組める教材が分かりやすい手順で丁寧に示されている。 授業時数や生徒の実態に応じて、弾力的な指導を展開できるよう配慮されている。 	1年p.21-23,40,41/ 2年p.36-39/3年p.30-33 各学年創作教材のページ

構成・配列・分量

教材の内容や程度

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、生徒が我が国や郷土の音楽に愛着をもてるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも総合的に捉えられるよう工夫されている。 伝統芸能や民謡などは、実際に音楽の一部を体験したり、同世代の中学生の取り組みについて知ったりすることによって、生徒が興味・関心をもち、実感を伴って鑑賞や歌唱の学習に取り組めるようなねらいが設定されている。 	1年p.52-63/ 2年p.56-69/3年p.42-55 1年p.55,60,61/ 2年p.60,61,66/ 3年p.48-50,54,55
唱歌や長く親しまれてきた歌を含めた我が国の音楽文化に対する配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「心の歌」と題した共通教材では、我が国の文化の視点から説明文や情景写真が用意されており、生徒が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるよう配慮されている。 各学年に「歌い継ごう 日本の歌」として、唱歌や現在も様々な場で親しまれ歌い継がれている楽曲などが精選して取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるよう配慮されている。小学校の共通教材「ふるさと」が全校合唱としても扱える編曲で掲載されている。 	1年p.24-29/ 2年p.18-25/ 3年p.10-18,20-22 1年p.68-71/ 2年p.74-79/ 3年p.70-73
発展的な学習内容や他教科との関連、プログラミング教育について、適切な配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された事項以外の内容や、他教科との関連を図ることで、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「この頃、日本では…!?!」、「耳でたどる音楽史」、能「敦盛」、Edelweissや「Let It Be」、各特集などが適切に配置されている。 創作の活動を通してプログラミング的思考を育成できるよう、適切に配慮されている。 	1年p.38,46,50,63/ 2年p.41-43,47,54,67/ 3年p.28,29,34,40,41, 46-50,90-95 1年p.21-23,40,41/ 2年p.36-39/3年p.30-33
国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱教材や鑑賞教材において、諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、アジアや世界の音楽文化を扱った教材や原語を取り入れた教材などが適切に配置されている。 心の触れ合いの大切さを味わえる歌唱教材を取り上げるなど、道徳との関連にも行き届いた配慮がなされている。 音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用について、著作権を尊重する気持ちを育てるとともに、「なぜルールを守らなければならないのか」という視点で分かりやすく説明されている。 歌唱教材を通し環境保護について迫ることのできるコラムが掲載されている。 国歌「君が代」と同じように、他国の国歌を尊重する態度を養い、国際理解にもつながるコラムが掲載されている。 	1年p.18,19,38,39,42-51, 64,65/2年p.30-33,40-55, 70,71/3年p.23-25,28,29, 34-41,56-61 1年p.10-13,34-37,68-92/ 2年p.10,11,74-94/ 3年p.23,26-29,70-88 1年p.93/3年p.64,65 2年p.21 各学年p.98,99
SDGsに関する記述はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの説明とともに、日本人が音楽教育を通して開発途上国の教育環境改善に取り組む姿を紹介するなど、SDGsについて明確に取り上げられている。 	3年p.68,69
内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進める上で適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。 イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。 	各学年各ページ
ユニバーサルデザインへの配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。 全体の9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。 	各学年各ページ
全体の体裁は教科書として適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> A4変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすい上、レイアウトも美しく統一感がある。楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。 表紙は生徒にとって親しみやすく、生活や社会の中の音や音楽を意識できる内容となっている。 	各学年各ページ 各学年表紙
印刷・製本などは適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 全ページにわたって4色刷りで、文字・イラスト・写真など印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするために黒色が光らないよう工夫されている。 製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分配慮されている。 	各学年全ページ

表記・体裁・装丁

資料

検討の観点別に見た特色 | 中学生の器楽

● 教育基本法との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求め、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	● 器楽の活動を通して、音楽科の学力を高めることのできる教材を配置し、学習手順が分かりやすく示されている。	p.10-15
	● 各楽器の特徴や基本的な奏法を理解できるよう、分かりやすい写真と丁寧な説明文で示されている。	p.16-74
	● 様々なジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器などで演奏することを通して、それらに親しめるよう工夫されている。	p.96-99
	● 他者を尊重し、道徳的観点と関連付けられる教材が取り上げられている。	p.10-15,76-95
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	● 生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習内容が示されている。	p.49
	● プロの演奏家のメッセージなどを通して、音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができる。	p.2,3,40,50,56,62,66
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● グループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材が含まれている。	p.10-15,76-95
	● 各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことによって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。	p.12-15
	● 郷土の祭りや芸能など、音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。	p.56,62,69
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 人が楽器を演奏するという事について社会とのつながりの中で理解することができるよう工夫されている。	p.2-5
	● 沖縄を拠点に、自然体な言葉で平和を願うメッセージを発信しているバンド、MONGOL800を楽曲とともに紹介し、郷土愛とともに生命の尊さを学ぶことができるよう工夫されている。	p.75
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえるよう配慮されている。	p.40-69
	● 諸外国の音楽で使用する楽器を紹介し、それらを用いる音楽により親しめるよう工夫されている。	p.70-74
	● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽やその手法を用いた教材が掲載されている。	p.92-95
	● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽に使われている楽器が分類されて示されている。	p.69
	● 和楽器を演奏している中学生の姿を紹介することによって、我が国の伝統的な音楽や楽器への親しみをもてるよう工夫されている。	p.107
● ピアニスト、反田恭平氏のインタビューを掲載し、楽器を通して音楽文化に親しみ、それらを尊重する態度を養えるよう工夫されている。	p.2,3	

第2条との関連

● 学習指導要領との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 教科及び各学年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。 目次、p.8,9及び各ページ
目標	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。	● 音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして器楽や創作の活動を進めたりできるよう、教材は適切に配置され、学習のねらいは生徒に分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるよう配慮されている。 目次、各ページ ● 生徒が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。 p.2-5,56,62,69,107
	「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、生徒にとって学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。 各ページ
	「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 学習活動を進める上で、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容をまとめる場面が設定されており、実際に演奏して確かめるなど、極めて適切なものとなっている。 p.10-15 ● 「深めよう！音楽」などのコラムでは、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面も設定されている。 p.11,13,15 ● 表現に対し思いや意図をもったり、自分や人の演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。 各ページ
	「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 器楽の学習の見通しをもつことのできる「学びの地図」（学習の見取り）が設けられ、生徒が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。 p.8,9
〔共通事項〕	（共通事項）は、学習指導を進める上で適切に扱われているか。	● （共通事項）に示された音楽を形づくっている要素が、アンサンブルセミナーや創作の学習目標の下に示されており、適切に扱われている。 p.10-15,49 ● 学習内容をまとめた「学びの地図」には音楽を形づくっている要素が明示されており、各教材の学習目標及びそれに関わる学習の窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、（共通事項）との関連が図れるよう配慮されている。 p.8,9
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。	● 生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。 各ページ ● 生徒が意見を交流し、学びを深めることができるよう、「知識・技能」に関するコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家からのメッセージにより自分の考えをより広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。 p.11,13,15 ● 「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して器楽の学習を深めることができるよう工夫されている。 p.2-5,69,75,100-107 ● 巻頭の特集ページ、巻末の楽典事項や各種の資料などにより、生徒が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。
指導上の配慮や工夫	言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。	● 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、器楽教材においては、譜例や図版を用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。 p.11,13,15,49 ● 音楽を形づくっている要素を文字で示すことで、言語活動の充実を図っている。 各ページ
	生徒が実感をもって活動を進めるための体験学習や体を動かす活動は、適切に設定されているか。	● 和楽器を学習する際に、生徒が親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、唱歌や口三味線を歌う活動が示されている。 p.46,48,55,59-61,64,65,68,92-95

資料

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
小学校における学習内容との系統性・一貫性に配慮されているか。	● 小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る意味で、極めて適切な内容となっている。	目次, p.8,9 及び各ページ
教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	● 様々な楽器及び楽曲の特徴に合った、効果的な選曲や配列がなされており、極めて適切である。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 学習内容をまとめた「学びの地図」で1年間の学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。	p.8,9
基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。	● 楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技能の習得に配慮されている。	p.16-74
	● 「深めよう！音楽」「Q&A」や各所のコラムでは、小学校で身に付けたことや、音色などの基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるよう工夫されている。	p.11,13,15,18,22-24,27, 34,36,43,44,54,59,67,72
各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	● 各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、学習内容をまとめた「学びの地図」や各教材においては題材設定のヒントとなる（共通事項）が示されているなど細かい配慮がなされている。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 学習内容をまとめた「学びの地図」においては学習指導要領に示されている器楽の学習内容や音楽を形づくっている要素が示されているなど細かい配慮がなされており、指導計画を立てる上で適切なものとなっている。	p.8,9
	● 様々な楽器編成に対応できるよう編曲上の工夫がなされており、極めて適切なものとなっている。	p.10-15,80-82,90,91,94,95
教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	● 各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。	目次, p.8,9 及び各ページ
	● 全体を通して、過不足ない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントなどが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱いの工夫がなされている。	
教材の選択及び扱いは、学習指導を進める上で適切であるか。	● 文章は生徒に分かりやすく丁寧かつ簡潔で文章量も適切なものとなっている。	各ページ
	● 明確な学習の観点のもと幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。	
教材の選択及び扱いは、学習指導を進める上で適切であるか。	● リコーダー、ギター及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器、打楽器が豊富な写真を用いて扱われており、生徒の主体性を引き出す工夫がなされている。	p.16-74
	● 演奏家の写真やメッセージなどが豊富に掲載され、楽器への興味・関心・意欲を高めるために極めて適切な内容となっている。	p.2,3,40,50,56,62,66
教材や学習活動の程度は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	● 楽曲の内容は、生徒の心情に合ったものが、様々な習熟度に応じた編曲で取り上げられており、極めて適切である。	各ページ
	● 各楽器のページにおいては、生徒の実態に合わせて基礎的な技能を習得できるよう、きめ細かな配慮がなされている。	p.16-74
「創作」に関わる学習活動が適切に取り扱われているか。	● 小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、箏を用いて無理なく行える創作の活動が設定されている。手順も丁寧に示されており、極めて適切なものとなっている。	p.49

構成・配列・分量

教材の内容や程度

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、生徒が我が国や郷土の音楽に愛着をもてるよう配慮されているか。	● 和楽器のページにおいては、楽器の奏法に関するだけでなく、姿勢や礼儀などについてのコラムも掲載され、適切に配慮されている。また導入として各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げられており、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から極めて適切なものとなっている。	p.40-69
	● 和楽器を用いた平易なアンサンブル曲や、生徒にとって親しみやすい曲が取り上げられており、我が国の伝統音楽のよさを主体的に味わえるよう配慮されている。	p.92-95,98,99
	● 巻末の資料では、同年代の生徒による和楽器の演奏写真が取り上げられており、和楽器を一層身近なものとして捉えることができるよう工夫されている。	p.107
発展的な学習内容について、適切な配慮がなされているか。	● 学習指導要領に示された事項以外にも、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「音楽ってなんだろう?」「バンドの世界をのぞいてみよう」を掲載しており、極めて適切に配慮されている。	p.4,5,75
国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	● 様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら学習を進められるほか、箏のページにおいては、「姿勢と礼儀」についても触れているなど、適切に配慮されている。	p.10-15,42,76-95
	● 諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、様々な国の楽器や楽曲を取り上げている。	p.4,5,16-39,70-74,76-79, 82-86,96,97,101,104,105
『中学生の器楽』と『中学生の音楽』の内容は、連携を図れるよう配慮されているか。	● 歌唱教材、鑑賞教材で扱われている作品を、実際に楽器で演奏することで連携が図れるよう、適切に配慮されている。	p.46,76,84,85,99
	● 巻頭の特集、巻末の楽典事項、「深めよう！音楽」、「My Melody」などのページは、『中学生の音楽』と同様の体裁で統一感をもたせるなど、全体に連携して使用しやすいよう工夫されている。	p.2-15,49,106
内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進める上で適切であるか。	● 楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。	各ページ
	● イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。	
	● 楽譜は全体的にたいへん見やすく、和楽器においては、和楽器固有の記譜法を掲載するなど、様々な指導実態に適応できるよう配慮されている。	
ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	● 説明文は簡潔かつ明瞭であり、全体にわたって美しく分かりやすい写真や図版が豊富に用いられているため、学習指導を進める上で極めて効果的である。	各ページ
	● 全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。	
全体の体裁は教科書として適切であるか。	● 文章や楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習に必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。	各ページ
	● 全体の9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。	
印刷・製本などは適切であるか。	● A4変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすい上、レイアウトも美しく統一感がある。楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。	各ページ
	● 表紙は生徒にとって親しみやすく、生活や社会の中の音や音楽を意識できる内容となっている。	表紙
印刷・製本などは適切であるか。	● 全ページにわたって4色刷りで、文字・イラスト・写真など印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするために黒色が光らないよう工夫されている。	全ページ
	● 製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。	
	● 再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分配慮されている。	

教材の内容や程度

表記・体裁・装丁

資料